

VOL. **105**

2021.12月号

青少年問題シリーズ

充実した冬休みに



ジャック・オー・ランタン、じょうずにできたよ！
～「ハロウィン会」川越市青少年相談員協議会主催～

川越市少年指導センター

川越市役所 こども育成課内





じゅうじつ ふゆやす 充実した冬休みに

もうすぐ楽しみにしている冬休みがやってきます。

冬休みは、大掃除や大晦日、お正月と初詣など、伝統的な行事があり、家族一緒に活動する機会が多くなります。

ご家族で、「我が家ならではの」年末年始の過ごし方を工夫し、家族の絆を深めましょう。

(下のチェックリストに、できたものをチェック☑しましょう。)



冬休み・新年の目標と計画を立て、実行しましょう！

一年間を振り返り、具体的な内容で、こつこつ着実に実行しましょう。

進んで学習に取り組みましょう！(塾・習い事を除く)



- 毎日の学習時間を決め、「二学期までの復習」や「自主学習」「書き初め」に取り組みましょう。
- 読書の習慣を身につけましょう。

健康で安全な毎日を送りましょう！

- 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を続けましょう。
- 3密(密閉・密集・密接)に注意し、マスク・手洗い・うがいをしましょう。
- 自分にあった適度な運動で、気分転換をしましょう。
- ゲームやスマホなど、親と相談し、ルールを決めましょう。
- 自転車などの交通事故や不審者に気をつけましょう。



家庭や地域でのふれあいを大切にしましょう！

- 家庭の一員として、家事や大掃除を分担し手伝いましょう。
- 家族で語り合う時間を大切にしましょう。
- 年末年始の地域の伝統行事や文化に親しみましょう。
- お年玉は、親と相談して使い方を考えましょう。



じここうてい かん はぐくみ

自己肯定感を育みましょう！

じぶん しょうらい あか きぼう じぶんじしん
 自分の将来に明るい希望をもっているかどうかは、自分自身
 こうていき わ
 を肯定的にとらえているかどうかで分かります。この肯定的な
 いしき わたし い うえ たいせつ
 意識（自己肯定感）は、私たちが生きていく上でとても大切な
 かんじょう にほん こ たち しょうがいこく くら
 感情です。日本の子ども達はこの自己肯定感が、諸外国に比べ
 ひく してき
 低いことが指摘されています。

親子で読んで話し合おう！



下表は平成 30 年度「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」（内閣府）から抜粋したものです。各国の割合（%）は、若者が①そう思う ②どちらかといえばそう思う を足した合計を示し、割合が高いほど、自己肯定感が高い若者が多いことを表します。下記のアンケート項目について親子で話し合い、理由も考えてみましょう。

【単位：%】

アンケート項目	日本	韓国	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
□1:私は、自分自身に満足している	45.1	73.5	86.9	80.0	81.8	85.8	74.1
□2:自分には長所があると感じている	62.3	74.2	91.2	87.9	91.4	90.7	72.7
□3:自分の親から愛されている(大切にされている)と思う	79.0	84.5	88.7	86.8	87.8	87.7	82.4
□4:自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	46.3	74.4	80.7	78.4	76.5	80.0	62.5
□5:うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	51.5	71.6	78.1	76.1	80.3	87.4	62.9

自己肯定感とは、①友だちと切磋琢磨し努力すること、②大人や友だちから頑張っているねと認められること、③ありのままの自分を受け入れ、自分らしさや個性を発揮すること、などを通して高まっていきます。そのために保護者の方々も、様々な場面で、子どもの良いところを積極的に褒めたり認めたりし、達成感や成功経験を積み、自信を持たせることが大切です。



～ 親子で一緒にお読みください ～

こそだ

【子育てについて】

江戸時代後期の農政家、二宮尊徳（金次郎）氏の教えに「可愛（かわい）くば五つ教えて、三つほめ、二つ叱って良き人となせ」という名言があります。親は誰でも、わが子が可愛いものです。ですから親は子に対して、「もっとこうなってほしい。」などの要求が強くなり、あれもこれも教える中で、ついつい叱ることが多くなります。本気で叱ることは大切ですが、叱りすぎると、だんだん感情が高ぶり、怒りに変わることがあります。感情に任せて怒るのは、子どもも素直になれず、反省しようとしません。

そこでもう一つ、尊徳の教えとされているのが「可愛くば五つ数えて、三つほめ、二つ叱って良き人となせ」です。叱りたくなったら五つ数えて、落ち着いてから長所を三つ挙げてほめ、それから二つだけ叱る。この適度のバランスが、子どものよりよい成長にとっても重要と言われています。

保護者の皆さんは叱り上手になることが大切です。きちんと叱れないのは、しっかりほめることができないのです。叱る時は子どもの人格を否定するのではなく、何がいけないのか行為そのものを叱り、ほめるときは結果だけでなく、子どもの努力や人格を認め共感することで、子ども自身の自尊心や自己肯定感が高まり、将来の夢や希望に向かって、じっくり取り組み、親子の絆が深まっていくものです。

そしてこの尊徳の教えは、山本五十六氏の次の言葉にも繋がります。



○「やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」

○「話し合い 耳を傾け 承認し 任せてやらねば 人は育たず」

○「やっている 姿を感謝で見守って 信頼せねば 人は実らず」

親として子どもの夢を応援するためにも、普段から率先垂範し、子どもに対しては三つほめ、二つ叱るそんなバランスを心掛け、子育てに取り組んでみたいものですね。

せいしょうねんなや

そうだん

青少年悩みごと相談

ふあん こま
不安なとき・困ったとき

ひとりで悩まずご相談ください。秘密は守ります。

かわごえしやくしょ いくせいかない しょうねんしどう
川越市役所こども育成課内 「少年指導センター」へ

049-224-5724 (直通)

- ▶ 友達のこと、学校のこと、家族のこと、心や身体のこと…。
悩みごとや心配ごとのある方、保護者の皆様、お気軽にお電話ください。
相談時間 火・水・木曜日(祝・休日、年末年始を除く)
午前10時～午後5時(受付は午後4時30分まで)

- ▶ メール相談も受け付けています。

川越市 青少年悩みごと相談

検索



スマートフォンはこちらから